

タイトル 「生徒研究発表」

学校名 足柄・大井・小田原・小田原東・山北・吉田島

足柄高等学校

研究テーマ 「理想のヘルメットを考えよう」

1 はじめに

はじめに

令和5年4月1日～

自転車利用者のヘルメット
着用が努力義務化

⇒1年以上経過したが、着用率は？

2 ヘルメットを被らない理由

ヘルメットを被らない理由

- ・被るのが面倒くさいから
- ・努力義務のため、別に着用しなくてもいいと考えてしまうから
- ・持ち運ぶのにかさばって邪魔だから

3 デザインコンテスト

ヘルメットデザインコンテスト

神奈川県HPで高校生を対象にヘルメットのデザイン募集を呼びかけている！！

目的：ヘルメット着用の必要性和効果を理解
⇒県民全体の着用促進



4 まとめ

まとめ

- ・自転車に乗る時は安全を第一に
- ・ヘルメット着用は自分の身を守るのに効果的
- ・デザイン性と機能性のどちらも必要
- ・手軽に携帯できたらステキ

大井高等学校

研究テーマ 「学校周辺の道路標識調査」

1 はじめに

学校周辺の道路標識調査 一番危険なのは「無知と思い込み」

道路交通法が5月に改正されました（施行はこれから）。
「自転車は歩道」の思い込みは、むしろ危険性を高める場合も…。学校周辺の道路標識調査からみえてきた自転車の乗り方と交通ルールについて考えてみました。

神奈川県立大井高等学校 2年校規委員 門松孝弥

2 自転車の「歩道通行が可能」な場合

3.歩道通行できる「例外」について

自転車の「歩道通行が可能」な場合

- ・道路標識や道路標示によって通行ができるとされているとき
- ・運転者が児童、幼児、70歳以上の者、又は車道通行に支障がある身体障害者であるものである場合
- ・車道又は道路の状況に照らして、通行の安全を確保するために、普通自転車が歩道を通行することがやむを得ないと認められる場合

3 まとめ

1. 学校周辺の道路標識調査から明らかになった「自転車の安全な乗り方」
まとめ・・・「知らないこと」「思い込み」が一番危険

- ・大井高校の東側には交通量が多く事故の可能性が高い「酒匂縦貫道路」がある。この道路を自転車が行く場合「歩道を通行する」ことが安全性の確保になる。ただし、歩道通行のルールは厳守すべき。歩行者との接触事故につながる。
 - ・大井高校の西側には酒匂川の土手道がある。日が沈むような遅い時間帯でない限り、安全に自転車で走行することができる。「酒匂縦貫道路」と同様ルールを守れば、自転車運転者も歩行者も安全が保たれる。
 - ・「酒匂縦貫道路」周辺(学校前も含む)の横断歩道も「歩行者・自転車専用」「歩行者・自転車横断歩道」の標識がいたるところに設置され、車の運転者に「注意喚起」され、安全が守られている。
- 「知らないこと、思い込みが一番危険。知ること、学ぶことが安全を守る。校規委員として調査したことを全校生徒に伝えていきたい。」

小田原高等学校

研究テーマ 「交通安全大会」

1 はじめに



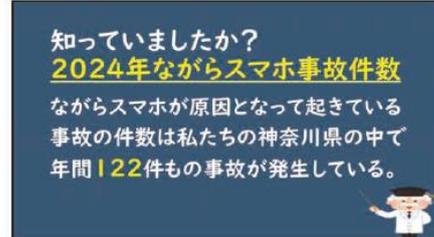
2 危険度レベル



小田原東高等学校

研究テーマ 「自転車のルールとマナー」

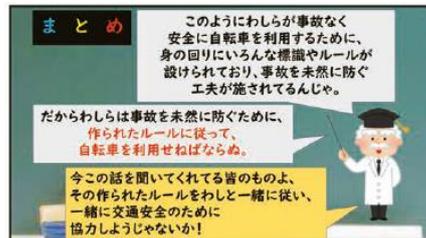
1 はじめに



2 登下校中の危険な場所



3 まとめ



山北高等学校

研究テーマ 「死角を意識しよう」

1 はじめに



2 死角の危険を避けるために

死角の危険を避けるために
基本：死角を完全に無くすることは不可能
対策：死角の存在を知り
意識してみることで危険を察知
エンジン音や影などの情報を察知
「相手」の視界を意識し、
見えやすい位置取りをする

3 まとめ

まとめ
歩くにも、自転車に乗るにも
死角に遭遇することになる
自分を守るため、他者の命を守るため
常に予測して、移動することが大切
ご清聴ありがとうございました。

吉田島高等学校

研究テーマ 「開成町の道路の危険性」

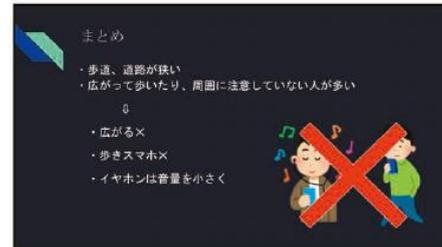
1 はじめに



2 設置物の大切さ



3 まとめ



タイトル 「PTA活動報告書」

学校名 足柄・大井・小田原・小田原城北工業・小田原東・西湘・山北・吉田島

足柄高等学校PTA

「PTA交通安全活動報告」

1. スケアードストレイトの体験授業

本校生は自転車通学者が多いことから、プロのスタントマンによる事故状況を再現して自分の今後の運転に生かしてもらうことを目的として実施。



2 定期試験中の下校指導報告

PTA役員 20 名程の参加で 1・2 学期期末試験の放課後に実施。



大井高等学校PTA

「PTAの交通安全に関する取り組み」

1 自転車点検

令和6年6月3日実施～

① 生徒数 211 名

自転車登録台数 101 台 (利用率 48%)

② 14 項目の点検状態の合算数値

良好の項目	653 件
要調整の項目	65 件
要交換の項目	21 件
点検不可の項目	59 件

③ 防犯登録・施錠状況

点検時の防犯登録台数 53 台 (93%)

施錠台数 42 台 (74%)

④ 昨年より良好評価率が 10% 上昇

2 セーフティカード配布

全生徒に配布



小田原高等学校 P T A

「交通安全の取り組み」

1 セーフティーカード配布

通学時に最寄り駅まで自転車を利用する生徒が40%、事故につながる危険を感じた生徒が37%いる。



2 通学路点検

多くの生徒が歩きスマホをしている実態があり、安全対策委員会では、道中の注意が必要な箇所や整備が必要な場所がないか、点検活動を行う。

小田原城北工業高等学校 P T A

「P T Aの交通安全に関する取り組み」

1 下校調査

本校は、小田急線栢山駅から徒歩7分の場所にあります。大雄山線・御殿場線・東海道線からは直接自転車通学の方が時短となるため、全学年で約半数が自転車通学者。

本委員会では6月と9月に下校調査を実施。

下校調査	歩きスマホ	歩きイヤホン	自転車イヤホン	自転車スマホ
第1回合計	72	41	14	6
第2回合計	45	36	12	1
総計	117	77	26	7



小田原東高等学校PTA

「PTAの交通安全に関する取り組み」

1 自転車点検

1/3の生徒が自転車通学をしている。また、学校前には信号があり、国道沿いに面しているため自転車通学者の交通マナーや自転車整備が課題として挙げられる。

2

自転車の利用状況

生徒数 520人

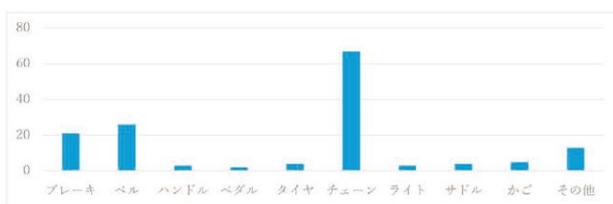
徒歩・自転車利用 249人

点検台数 200台

整備良好車 89台

要整備車 111台

3 自転車点検結果



西湘高等学校PTA

「交通安全の取り組み」

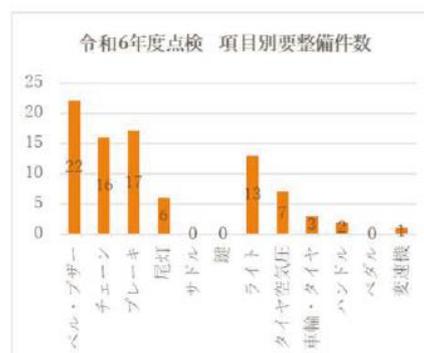
1 自転車点検

PTA厚生委員会による年1回の自転車点検の実施。

「黄色の安全点検カード」に所見を記入して自転車に取り付けることで生徒や保護者が不良個所を把握できるようにしている。

今年度の点検結果は

総点検数 172台、(良好車 100台、整備不良車 72台)



山北高等学校PTA

「県西地区交通安全大会PTA活動報告」

1 交通安全指導

5月13日(月)PTA成人教育委員会、広報委員会、本部役員により登校時の交通安全指導を実施。

指導場所は御殿場線の東山北駅～学校までの道路。御殿場線松田駅～東山北駅までの車内、学校周辺のT字路や横断歩道。

御殿場線の運航は1時間に1～2本と少なく、登校時に利用できる電車が限定され、雨天時は利用する生徒が増えるため、あえて、雨天時に登校の様子を見守る活動を行っている。



2 今後実施予定の活動

体育の授業の一環として実施される校内マラソン大会の巡回指導を行う。

吉田島高等学校PTA

「交通安全の取り組み」

1 PTAの「あいさつ運動」と併せて正門の見守りを実施

通学路で危険な場所は6か所ある。いずれも共通しているところは道幅が狭く、交差点が多いのに交通量が多く、一方通行でない。

狭い道路では車道と歩道があいまいになり、安全確保が難しい通学路であることを考えて生徒とPTAが一体となり取り組む必要がある。



十文字橋から学校への旧道